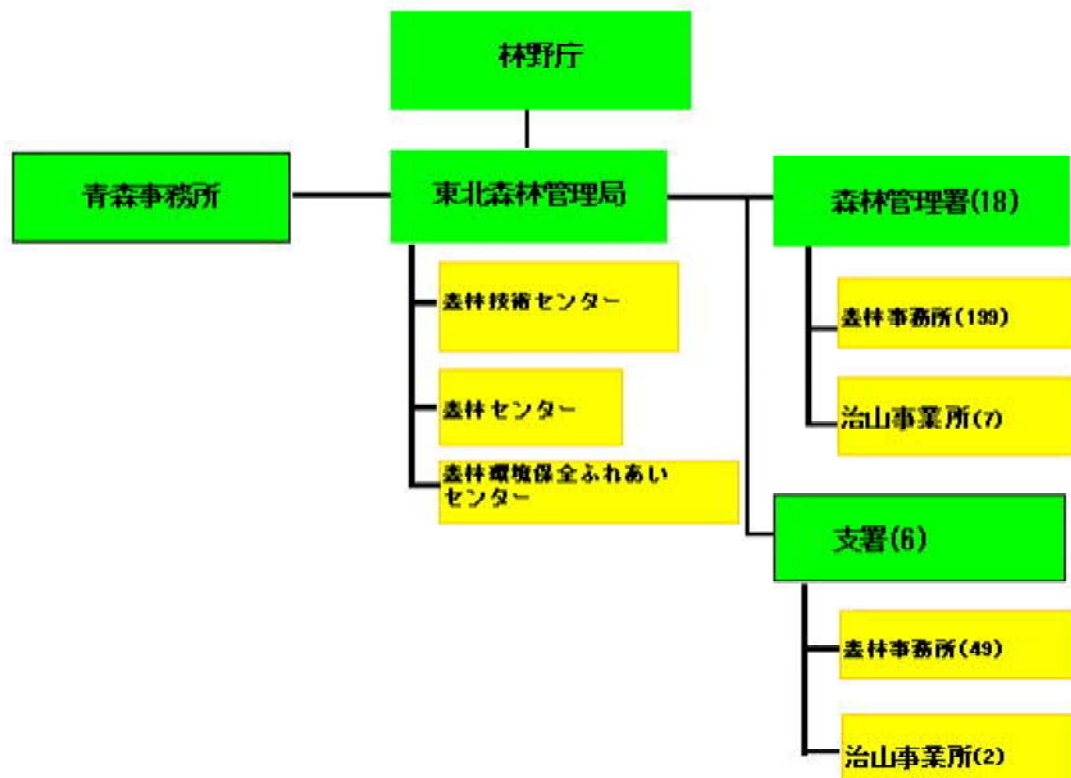


5 国有林野の事業運営

(1) 管理経営の事業実施体制

東北森林管理局では、局、青森事務所、18森林管理署、6支署、森林事務所、治山事業所等の体制の下、効率的な管理経営に努めました。

管理経営の事業実施体制



① 民間委託の推進

特に、伐採や造林等の事業実行については、民間事業者への委託を進め、平成18年度から伐採（素材生産）のすべてを民間委託したほか、人工造林、保育についてもそのほとんどを民間委託により行っています。

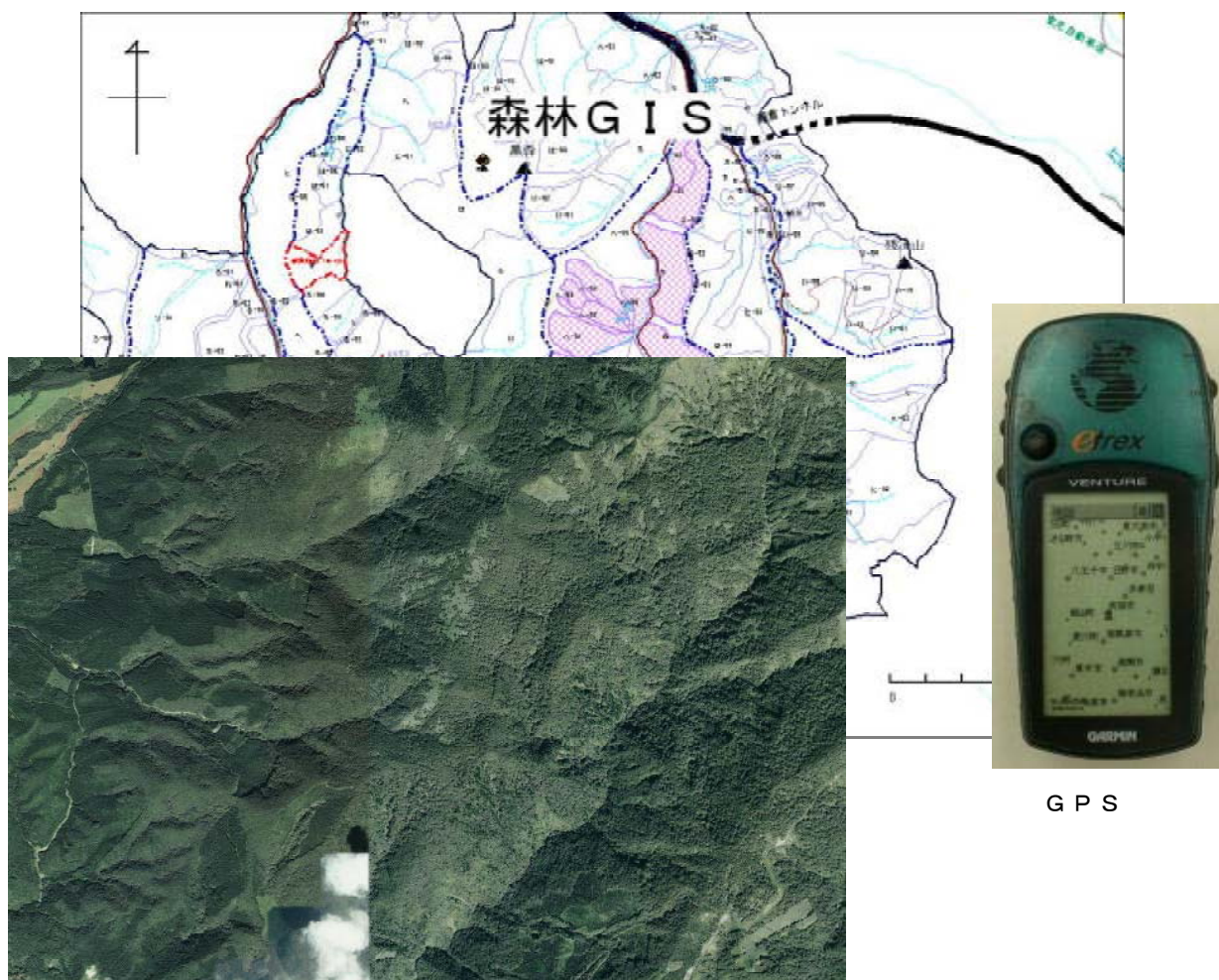
民間委託の実施状況

区 分	平成19年度	平成18年度
伐採(素材生産)m ³	419,926	368,661
委託m ³	419,926 (100)	368,661 (100)
人工造林ha	909	713
委託ha	904 (99)	688 (96)
保育(下刈等)ha	8,365	5,712
委託ha	7,511 (90)	4,561 (80)

② ITの活用

国有林野事業では、「事務改善・OA化5カ年計画」(平成16～20年度)を策定し、事務の簡素化やOA化等による事務処理の効率化に取り組んでいます。

平成19年度は、業務、システムの刷新に向けた事務処理システムの開発を進めたほか、森林GIS^{注)}の整備などに引き続き努めました。



G P S

導入された衛星画像

③ 労働安全衛生の確保

東北森林管理局では、業務の運営に当たり死亡災害など重大災害の絶滅はもとより、心の健康づくり対策にも力を入れるなど、労働安全の確保と心身両面にわたる健康づくりを進めています。

平成19年度は、災害発生件数が平成18年度よりも1件増加し、災害発生の頻度を示す度数率も増加しました。重傷災害が1件増加しましたが労働損失日数の減少により災害の大きさ(深度)を示す強度率は低くなりました。

労働災害の発生状況

区 分	災害発生件数				度数率	強度率
	死亡	重傷	軽傷	合計		
平成19年度	—	5	3	8	3.59	0.03
平成18年度	—	4	3	7	2.75	0.05

注：1 度数率＝災害件数／実労働延時間数×1,000,000

2 強度率＝労働損失日数／実労働延時間数×1,000

民有林・国有林を通じた林業労働災害防止対策

三八上北森林管理署では、請負事業体等における労働災害撲滅に向けて安全管理体制等の強化を図るため、十和田労働基準監督署と連携して安全指導等を含めた現地見学会を実施しました。

現地は36年生のスギ人工林(面積16.30ha)の定性間伐実施箇所で、チェーンソー伐倒、ハーベスタ^{注)}伐倒・枝払い・造材、林内運搬車による搬出、グラップル付きトラックによる巻立・運搬の各作業の工程をチェックして、伐倒方向、ツルの取り具合、機械操作の熟練度などについて、安全指導や意見交換を行いました。



現地作業説明の様子



ハーベスタについての意見交換

場 所：青森県十和田市 高崎国有林(三八上北森林管理署)

(2) 平成19年度の収支

東北森林管理局における平成19年度の収入については、林産物の販売量の確保や積極的な資産処理に努めました。

支出については、地球温暖化防止等に資する森林整備を推進したほか、人件費や委託化の推進等効率的な実行による事業経費の縮減に努めました。

こうした抜本的改革の基本方針に基づき財務の健全性の回復に努めた結果、前年度に引き続き新規借入金をゼロにするなど改革の推進に努めました。

平成19年度の東北森林管理局の収支状況

国有林野事業勘定

国 有 林 野 事 業 の 収 支 状 況

(単位：百万円)

収 入			
科 目	19年度	18年度	増 減
事 業 収 入	6,408	6,075	333
林産物等収入	4,962	4,775	187
林野等売却代	1,446	1,300	146
財産貸付料等収入	943	950	△7
雑 収 入	124	363	△239
国有林野事業雑収入	124	363	△239
治山事業雑収入	0		0
一般会計より受入	33,916	26,952	6,964
事業施設費財源	15,315	10,275	5,040
公益林等保全管理費財源	4,669	5,149	△480
利子財源	4,353	4,491	△138
治山事業費財源	9,579	7,037	2,542
地方公共団体工事費負担金収入	569	576	△7
前年度剰余金受入	0	79	△79
借 入 金	34,605	28,219	6,386
新規借入金		0	0
借換借入金	34,605	28,219	6,386
合 計	76,565	63,214	13,351

支 出			
科 目	19年度	18年度	増 減
人 件 費	12,223	13,052	△829
定員内職員給与等	7,621	8,571	△950
林野基幹作業員給与等	4,602	4,481	121
事業的経費	13,766	10,727	3,039
森林整備費	11,453	8,215	3,238
事業費	2,313	2,512	△199
利子・償還金	38,575	32,679	5,896
借入金利子	3,965	4,451	△486
償 還 金	34,610	28,228	6,382
交付金等	1,774	1,684	90
治山事業	8,419	6,069	2,350
合 計	74,757	64,211	10,546

収 支 差	1,808	△997
-------	-------	------

- 注) 1 収入は販売契約額等により、支出は支払義務の生じた額を計上している。
2 金額は、それぞれの科目で四捨五入しているので合計額とは必ずしも一致しない。